



# JAL不当解雇撤回ニュース

No249号 2013.02.19  
発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先:航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.co>

## B787 国内線(264席タイプ) ドア数8カ所に客室乗務員は6名 誰もいない二つのドア、緊急時どうするの?

B787のトラブルが続き、現在、安全確保のために運航が停止されています。私達は、バッテリーはじめ様々な不具合について、徹底した原因究明と再発防止策が確立されるまで、運航を再開しないことを求めています。

1月16日ANAの高松空港緊急着陸時、飛行機の左側最後部のドアは開けられていませんでした。なぜ開けられなかつたかは明らかになってしまんが、当該ドアと飛行機右側最前方の2カ所のドアには客室乗務員が配置されていませんでした。このようにJALもANAも機材によってはドアの数に満たない客室乗務員数になっています。

今回は乗務員の的確な対応により、旅客を無事脱出させることができましたが、一秒を争う緊急時に客室乗務員がドアにいなくて、旅客を安全に緊急脱出させることができるのでしょうか。



## 安全を訴える労働者を切り捨て、利益を優先する経営者!



客室乗務員の第一の任務は保安任務です。私たち原告は以前より、飛行機のドア数に満たない客室乗務員の数は安全上問題であるとして、編成増を求めてきました。しかし安全よりも利益を優先する会社は、そうした声に耳を傾けていませんでした。そして、安全に対して声を出す者や労働組合を排除するために、整理解雇を強行したのです。乗客・乗員の安心・安全のために、解雇を撤回させ早く職場に戻ることを願っています。

昨年と今年で1140名の新人が採用されることになります。すでに650名の客室乗務員が入社し乗務を始めていますが、今後、客室乗務員の4人に1人が新人になります。ベテランの被解雇者を職場に戻して、より安全な職場にするべきです。

昨年・今年で1140名を採用(客室乗務員)!  
84名を早急に戻すべき